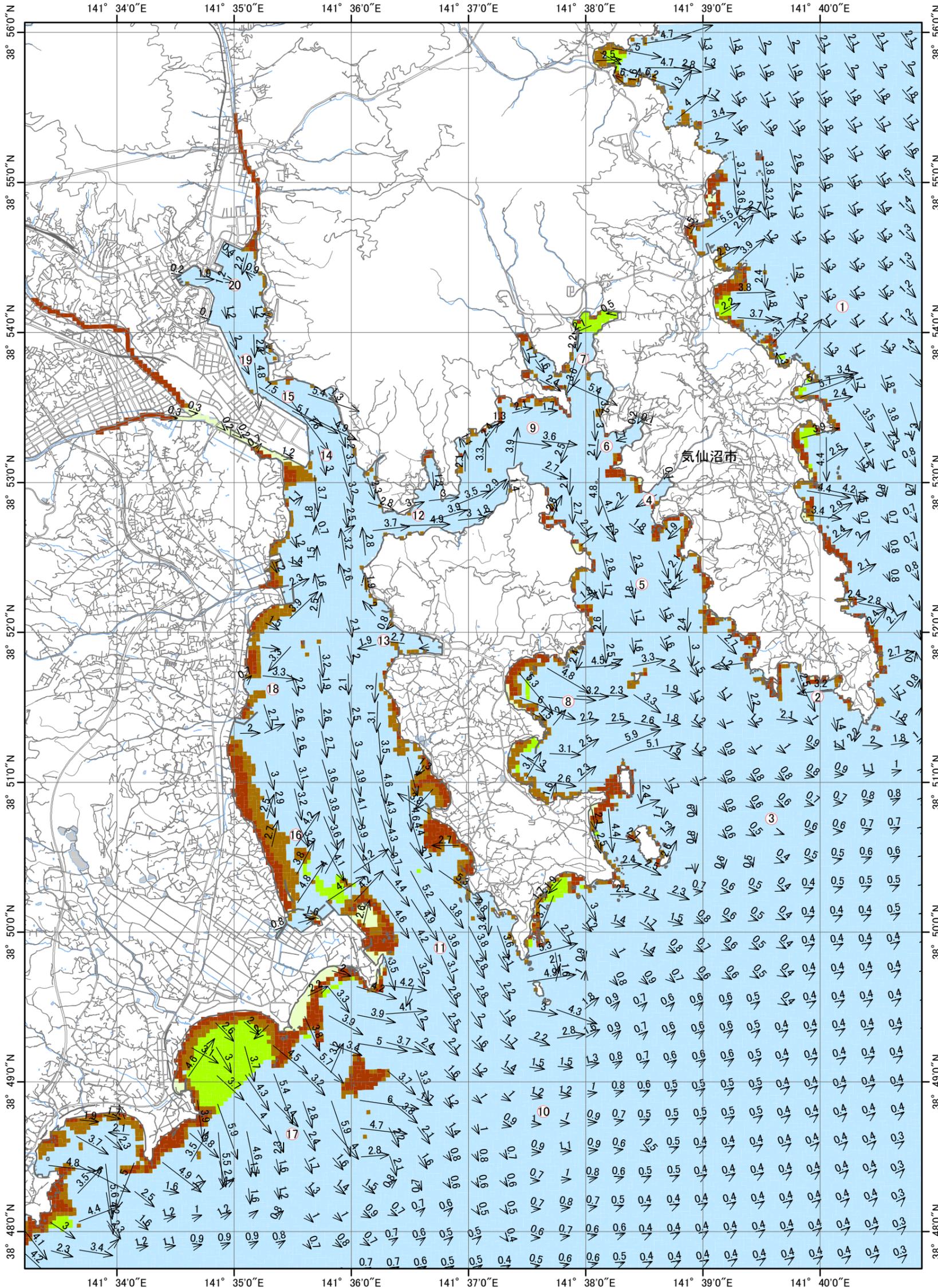


# 気仙沼湾 津波防災情報図 (引潮図)



座標系：メルカトル図法  
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件： 最低水面 (零位)  
隆起量： 平均 -0.02m (-0.03m ~ -0.02m)  
Zo： 0.85m  
備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



### 凡例

- 最大水位低下
  - 2~最大2.9m
  - 0.5~2m
  - 0.5未満
- 干出域
- 露出域

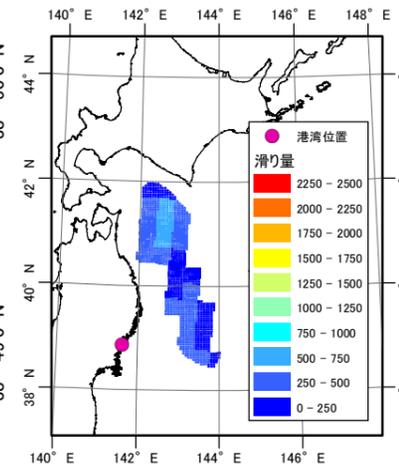
No. 経時変化図出力点  
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

### 引潮時最大流 [knot]

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

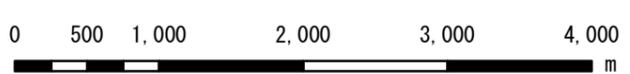
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

### 断面モデル



三陸沖北部地震  
本断面モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

モーメントマグニチュード Mw	8.4
-----------------	-----



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
・海上保安庁が保有する水深データ  
・基礎地図情報5mメッシュ (標高)・10mメッシュ (標高)、及び基礎地図情報 (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平30情使、第326号 平成30年6月27日)